



# 京都アカデミアウィーク 2019

新丸の内ビルディング 10階

入場無料



ホームページ  
<http://www.kyoto-af.jp>

京都の文化、芸術、科学等に関心のある方に、さらに一步踏み込んだ京都の魅力をお伝えする「京都アカデミアウィーク」を今年度も開催いたします。例年1000名近くの申込がある同セミナー。「だから、京都行こう。」をコンセプトに京都の大学ならではの、知的で刺激いっぱいのセミナーを各大学が連携して実施します。

## 会期

10/7 10/8 10/9 10/10 10/11

Monday

Tuesday

Wednesday

Thursday

Friday

## 「京都アカデミアフォーラム」in丸の内とは

「京都アカデミアフォーラム」in丸の内とは、2017年に設立され 京都外国語大学、京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都女子大学、京都精華大学、京都美術工芸大学、同志社女子大学、京都大学が連携し、京都の文化・芸術・科学について「学術面から情報発信する場」として広く一般に認知されることを目指し、京都の魅力や価値を高めることを目的とした場の総称です。

## 協賛先一覧

MARUZEN-YUSHODO	FRANCK MULLER GENEVE	京都信用金庫	TOTAL CREATION TELACOYA GOURMET	朝日新聞	日本経済新聞	RYATT HOTEL	JR 東海リゾースト	nikkeisha	AXONA AICHI
香光舎 松 崇 堂		交通不動産ホールディングスグループ nastic ニシック	宮井株式会社	Fujisan	xy max	東急不動産	nikkeisha	東急不動産	京都新聞

■ 京都アカデミアフォーラム in 丸の内  
新丸の内ビルディング10F



京都アカデミアフォーラム事務局(南)

Tel : 075-753-9722

Mail: kyoto-academia-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参加申し込みサイト  
<https://kyotoaw2019.peatix.com>

※講演会へのご参加は事前申込制になります



続きは裏面へ

# ■ 講演紹介

※プログラムについては一部変更の可能性があります。最新情報はホームページでご確認下さい。



大学の知恵@京都

10  
/ 7  
Monday

14:30~16:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 幕末維新の京都政局と天皇 -「叡慮」と謀略-

主催: 京都女子大学



母利 美和  
京都女子大学 文学部 教授

14:30~16:00 定員:120名 対象:一般

## ■ KYOTO Design Lab からDesign-centric Engineering Program(dCEP)への歩み

主催: 京都工芸繊維大学



小野 芳朗  
京都工芸繊維大学 理事・副学長

10  
/ 8  
Tuesday

14:30~16:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 冷泉家の歴史と文化

主催: 京都美術工芸大学



冷泉 為人  
京都美術工芸大学 学長

10  
/ 9  
Wednesday

10  
/ 10  
Thursday

14:30~16:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 京都の意外一学校づくりのパイオニアー

主催: 京都市立芸術大学



赤松 玉女  
京都市立芸術大学 作家  
理事長・学長



本年4月に京都芸術大学長に着任した赤松玉女が、「ちゅんまげぶりん」や「オケ老人!」など、多くの映画化された作品を著書を持つ作家荒木源氏をゲストにお迎えし対談します。京都芸大で学び、画家として活躍しながら、同大学で長年芸術家の育成に務めてきた赤松学長と、本年5月に刊行された小説『御苑に近き学び舎に』で、明治維新後の京都で全国初の地域制「番組小学校」が誕生した背景に迫った荒木氏が、「教育」を切り口に京都の意外な一面をお伝えします!

18:30~20:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 京都とイノベーション

主催: 京都光華女子大学



高見 茂  
京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 学長

延暦13年10月22日(西暦794年11月22日)に平安京遷都が行われ、爾来京都は明治初年に至るまで日本の首都機能を担う重要な都市であり続けました。遷都に当たっては、当時の先端科学である風水思想を取り入れ都の安寧を図りました。これは、古代の都市建設におけるイノベーションの精神は、その後脈々と受け継がれ、産業振興、教育制度の整備、都市行政にも活かされています。本講座ではイノベーションを軸に京都の歴史を振り返ります。

10  
/ 11  
Friday

18:30~20:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 悲哀する京都

主催: 京都大学



小倉 紀蔵  
京都大学 人間・環境学研究科 教授

京都という都市を、「悲哀する人びとの記憶の集積したまち」としてとらえてみる。1200年以上の歴史を持つこの都には、いったいどれだけの「悲哀」が蓄積されているのか、想像すらできないほどである。京都の悲哀を追体験してみると、小さく細分化されてしまった学知によっては決してとらえることのできない「世界」を、京都というまちを舞台として再現してみる。

18:30~20:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 『源氏物語』への招待 —賢木巻の「暁」を読む—

主催: 同志社女子大学



吉海 直人  
同志社女子大学 表象文化学部日本語日本文学科 特別任用教授

葵巻の車争いで敗北が要因となって、生靈と化した六条御息所は源氏の正妻・葵の上を取り殺す。と同時に源氏から愛されないことを悟った御息所は、娘斎宮と一緒に伊勢下向を決意し、物語の舞台から姿を消すことになる。続く賢木巻の前半では、源氏が御息所のいる嵯峨野の野宮を訪問し、二人の別れが美しく描かれる。その夕月夜から暁までの描写を丁寧に読み取ることを通して、『源氏物語』の面白さを伝えられれば幸いである。

18:30~20:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 幕末京都と会津藩

主催: 京都外国語大学



松平 保久  
会津松平家 十四代当主  
京都外国语大学 広報室 相談役

会津藩9代藩主 松平容保は、尊皇攘夷を掲げる討幕派により京都の治安が悪化するなか、1862年(安政9年)京都守護職に就任しました。混乱する京都の治安維持に尽力し公武合体派の孝明天皇から厚い信頼を得ました。以降、会津と京都との間には、浅からぬ関係がつくられ、現在に至っています。美少年と謳われた面影の裏には忠義を貫いた容保の生き方があります。皆さんと一緒に幕末の京都と会津について思いを馳せたいと思います。講座の内容は以下のとおりです。

- 会津藩の成り立ち
- 松平容保 京都守護職時代の京都政局
- 明治期になってからの山本八重の兄・覚馬が政界で果たした役割

10  
/ 11  
Friday

18:30~20:00 定員:120名 対象:一般

## ■ 日本を蝕む「戦後の国体」とは何か?

主催: 京都精華大学



白井 聰  
京都精華大学 人文学部 総合人文学科 社会専攻  
(撮影者 梅谷秀司)

先年私は『国体論——菊と星条旗』(集英社新書)と題する著作を上梓した。「国体」とは、大日本帝国の時代においては至高の価値を持つものとされ、「日本国の根本的在り方=天皇制」を指していた。戦後の民主化により、この語は死語となつた。だが、実は「国体」は生きている。なぜ、平成は「失敗の時代」に終わり、閉塞から我々は脱け出せないのか。その根源を「国体」の概念から明らかにする。

# クラウドファンディング挑戦中!



京都の9大学が連携を図り、「だから、京都行こう。」をコンセプトに、関東圏に対して京都の文化・芸術・科学を学術面から発信する本取組に対して、毎回多数の来訪を頂いています。しかしながら無料での実施で開催費用が自己負担のため、運営資金とセミナーの充実を図る目的から、

クラウドファンディングを 2019年8月19日から9月30日まで募っています。 京都アカデミアウィーク2019  
クラウドファンディング

URL:<https://readyfor.jp/projects/academiawEEK2019>

